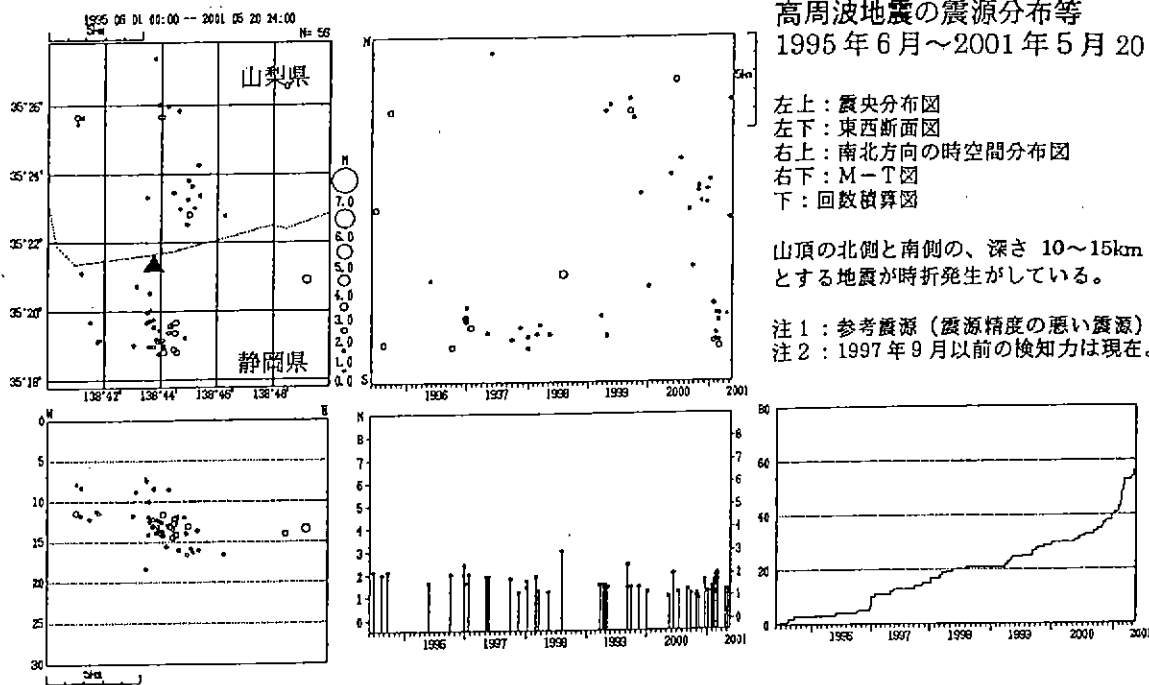


図3 富士山周辺の地震活動1
高周波地震の震源分布等
1995年6月～2001年5月20日

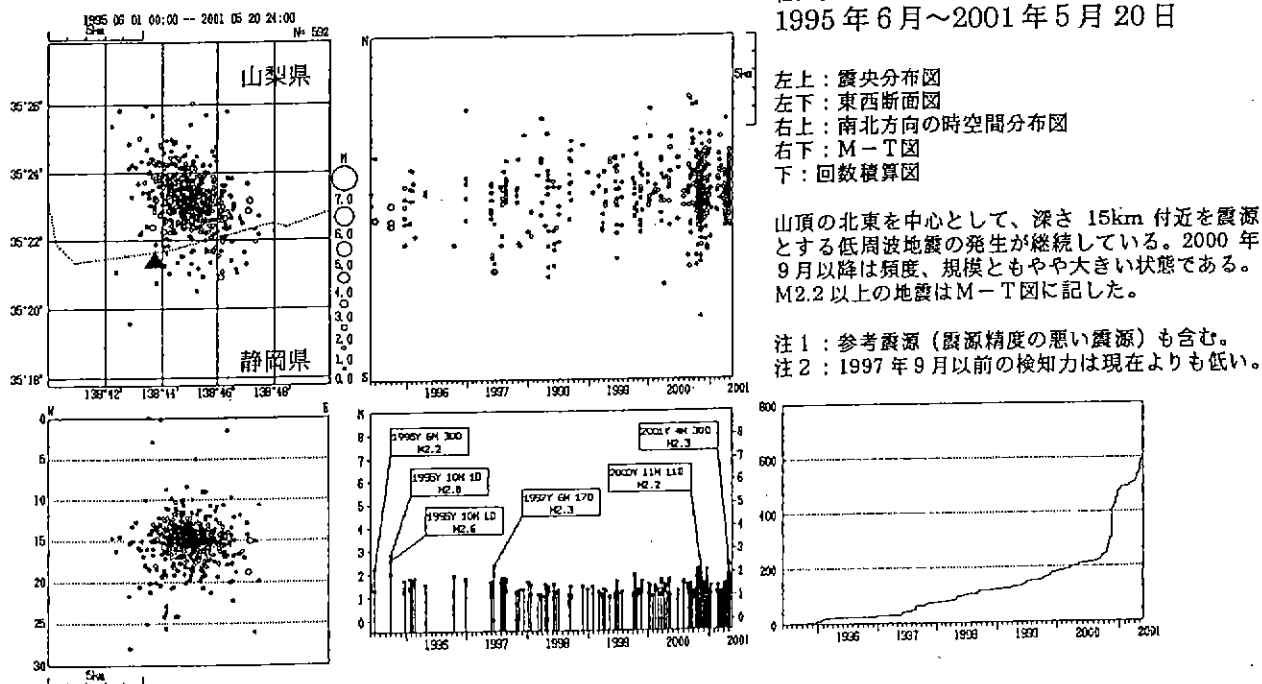


左上：震央分布図
左下：東西断面図
右上：南北方向の時空間分布図
右下：M-T図
下：回数積算図

山頂の北側と南側の、深さ 10～15km 付近を震源とする地震が時折発生がしている。

注1：参考震源（震源精度の悪い震源）も含む。
注2：1997年9月以前の検知力は現在よりも低い。

図4 富士山周辺の地震活動2
低周波地震の震源分布等
1995年6月～2001年5月20日



左上：震央分布図
左下：東西断面図
右上：南北方向の時空間分布図
右下：M-T図
下：回数積算図

山頂の北東を中心として、深さ 15km 付近を震源とする低周波地震の発生が継続している。2000年9月以降は頻度、規模ともやや大きい状態である。M2.2以上の地震はM-T図に記した。

注1：参考震源（震源精度の悪い震源）も含む。
注2：1997年9月以前の検知力は現在よりも低い。